

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, November 2017

課長：佐藤 裕久 *H. Sato*

幹事：下元 繁男 *S. Shimomoto*

○ 11月の状況 (佐藤)

☆ C/2017 01 (ASASSN) (写真 a)

彗星課メーリングリスト (oaa-comet ML、以下同じ) に次のように報告があった。

11月6日 22:11、筆者から「10月 25.56日 UT、高橋俊幸さん(栗原:D95)は 0.25-m f/4.2 反射+CCD で全光度を 11.8 等と観測しました。11月 4.62日 UT、門田健一さん(上尾:349)は 0.25-m f/5.0 反射+CCD で全光度を 10.8 等と観測しました。11月 9.52日 UT、芸西チーム(372)は、0.70-m f/10 反射 + レデューサー(f/5)で全光度を 10.2 等と観測しました。16.66日、18.60日 UT、池村俊彦さん(新城観測所: Q11)が 0.35-m f/5 反射で撮った CCD 画像から、私はそれぞれ全光度を 12.0 等、11.8 等と測定しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

25日 20:11、吉田誠一氏(神奈川県横浜市)から「群馬県・北軽井沢での彗星観測です。夕方3時頃はかなり雪が降っていましたが、夜にはほぼ快晴になりました。ただ、近くには雪雲があって、夜通し雷が光っていました。…C/2017 01：かなり暗く小さくなりました。北極星のすぐ近くで、一晩中見えています。…」とのコメントと他の彗星と併せ光度等観測報告(主な光度等観測報告を参照)があった。

11月中、国内で位置観測したのは、門田健一氏(埼玉県上尾市, 0.25-m f/5.0 反射望遠鏡)、芸西チーム(0.70-m f/10 反射 + f/5 レデュー

サー)、池村俊彦氏(愛知県, 新城観測所, 0.35-m f/5.0 反射:測定は筆者)、安部裕史氏(島根県松江市八束, 0.26-m f/6.0 反射)、大島雄二氏(長野県長野市, 0.30-m f/4.6 反射)であった。

☆ C/2016 R2 (PANSTARRS) (写真 b)

22日 15:41、筆者から「11月 12.78日、13.62日 UT、大島雄二さん(長野:D81)は 0.30-m f/4.6 反射+CCD でそれぞれ全光度を 14.4 等と 12.2 等観測しました。20.68日 UT、池村俊彦さん(新城観測所: Q11)が 0.35-m f/5 反射で撮った CCD 画像から、私はそれぞれ全光度を 12.9 等と測定しました。20.68日 UT、私(X75)は、0.2-m f/4.0 反射+CCD で全光度を 12.1 等と測光しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

25日 20:11、吉田誠一氏から「…C/2016 R2：かなり明るくなってきました。楽に見えます。…」とのコメントがあった。

29日 13:05、筆者から「11月 20日 UT に池村俊彦さん(新城観測所: Q11)が撮った CCD 画像でも尾の変化がわかりますが…Michael Jäger の画像を見るとさらに複雑に変化しているようです…」とコメントし改良軌道要素を報告した。

11月中、国内で位置観測したのは、池村俊彦氏(愛知県, 新城観測所, 0.35-m f/5.0 反射:測定は筆者)、井狩康一氏(滋賀県守山市, 0.26-m f/7 反射)、大島雄二氏(長野県長野市,

0.30-m f/4.6 反射)、安部裕史氏(島根県松江市八束, 0.26-m f/6.0 反射)、野原秀憲氏(栃木県宇都宮市, 0.4-m f/3.8 アストログラフ)、門田健一氏(埼玉県上尾市, 0.25-m f/5.0 反射望遠鏡)、高橋俊幸氏(宮城県栗原市, 0.25-m f/4.2 反射)であった。

☆ 62P/Tsuchinshan (写真 c)

23日12:09、筆者から「MPEC 2017-V13に公表された以外の観測です。10月25.56日、31.76日UT、高橋俊幸さん(栗原:D95)は0.25-m f/4.2反射+CCDでそれぞれ全光度を12.2等、12.0等と観測しました。31.78日UT、大島雄二さん(長野:D81)は0.30-m f/4.6反射+CCDで全光度を12.1等と観測しました。11月11.79日UT、門田健一さん(上尾:349)は0.25-m f/5.0反射+CCDで全光度を11.4等と観測しました。15.83日、18.76日UT、池村俊彦さん(新城観測所:Q11)が0.35-m f/5反射で撮ったCCD画像から、私はそれぞれ全光度を12.0等11.8等と測定しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

25日20:11、吉田誠一氏から「…62P:明るく大きいです。拡散状です。…」とのコメントがあった。

11月中、国内で位置観測したのは、門田健一氏(埼玉県上尾市, 0.25-m f/5.0反射)、池村俊彦氏(愛知県, 新城観測所, 0.35-m f/5.0反射:測定は筆者)、高橋俊幸氏(宮城県栗原市, 0.25-m f/4.2反射)、野原秀憲氏(栃木県宇都宮市, 0.4-m f/3.8 アストログラフ)、芸西チーム(0.70-m f/10反射 + f/5 レデューサー)、大島雄二氏(長野県長野市, 0.30-m f/4.6 反射)であった。

○ 11月に検出・発見された彗星

☆ P/2011 VJ₅ = 2017 W1 (Lemmon) Erwin Schwab (Egelsbach, ドイツ)の通報によると、11月19日UT、P/2011 VJ₅ (Lemmon) が、Pablo Ruizによりスペイン領カナリア諸島 Tenerife 島にあるESA(欧州宇宙機関)の光学地上局の1.0-m f/4.4 反射望遠鏡で得た画像から検出された。Schwabによって、スペインのCalar Alto天文台の0.8-m f/3 Schmidt 望遠鏡で得た画像から確認された。さらに、10月27日、11月18日に1.8-m Pan-STARRS1 望遠鏡の画像と11月16日にA. D. GrauerがMt. Lemmonの1.5-m 反射望遠鏡で得た画像にも写っていた。MPC 94678のG. V. Williamsの予報に対して、Delta(T)は、+0.82であった。ICQ's 2017 Comet Handbookの中野圭一氏の予報に対して、Delta(T)は、+1.04 dayであった(CBET 4455, 2017 November 20)。

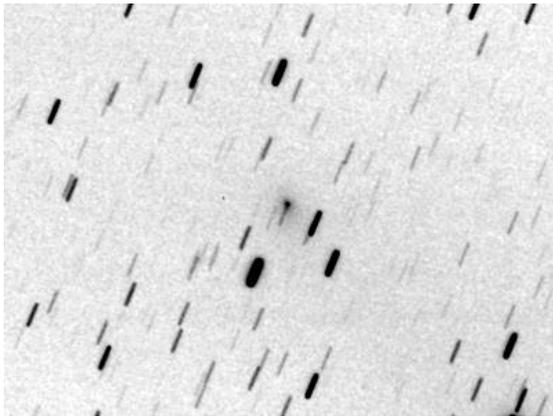
☆ C/2017 U5 (PANSTARRS) R. Weryk, R. Wainscoat と E. Lilly (ハワイ大学天文学研究所)の通報によると、10月30日、Haleakalaにある1.8-m Pan-STARRS1 望遠鏡で得た4枚のw-バンド CCD 露出から彗星を発見した。Werykの注記では、非対称の点拡散関数 (PSF)があり、約4"西の少し北に伸びた短くかすかな尾がありそうで、この天体の頭部の半値全幅 (FWHM)は1".25のシーイングで1".5であった。小惑星センターのPCCP webpageに公表後、W. H. RyanとE. V. Ryan (Magdalena Ridge天文台, 11月10.3日UT, 2.4-m f/8.9 反射望遠鏡: p. a. 約270°に向かって細い尾が見える)や佐藤英貴氏(東京都文京区, iTelescope天文

台, 11月11.6日, 60秒露出12枚のスタック, 0.70-m f/6.6 アストログラフ+輝度フィルター, Siding Spring, 遠隔操作:適度な集光ある8"の核状のコマがあるが尾はない。4".4の円形範囲で測定したこの彗星のw-バンド全光度は20.2等であった)ら CCD位置観測者によって彗星状と観測された (CBET 4458, 2017 December 3)。

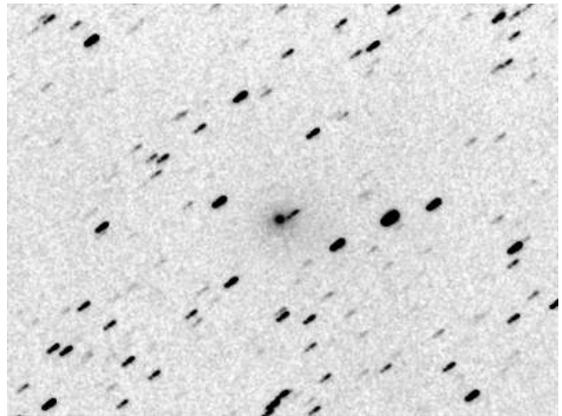
☆ C/2017 W2 (Leonard) G. J. Leonard の通報によると、11月26日 UT、Mt Lemmon の 1.5-m 反射望遠鏡で得た CCD 画像からおよそ 2.1" のシーイングで彗星を発見した。30 秒露出 4 枚を重ねると 10" のコマと p. a. 約 320° に約 15" の拡散した尾が見える。11月27.5日 UT、D. C. Fuls の Catalina スカイサーベイの 1.55-m 反射望遠鏡によるフォローアップ観測では、p. a. 315° に 5".3 の非常に短い尾が見える。12月14.4日、Mt Lemmon の 1.5-m 反射望遠鏡による D. C. Fuls の追加観測では、p. a. 350° に扇状の尾が見えた。小惑星センターの PCCP webpage に公表後、J.-F. Soulier (0.20-m f/4 ニュートン式反射望遠鏡, Dauban, フランス) の観測では、11月30.2日 UT、CCD 画像から 10" のコマと p. a. 320° に 15" の尾を見つけた (CBET 4461, 2017 December 19)。

☆ P/2017 W3 (Gibbs) Alex R. Gibb の通報によると、11月27日、Catalina スカイサーベイの 0.68-m Schmidt 望遠鏡によって、かすみがあった晴天と平均的なシーイングで得た CCD 画像から彗星を発見した。30 秒露出 4 枚を重ねると 6" のコマが p. a. 300° の 20" の尾の方向に伸びている。11月28.5日 UT、Gibbs の Mt Lemmon Steward Observatory の 1.0-m 反射望

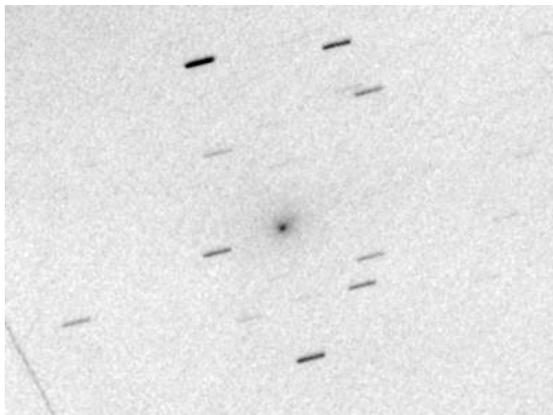
遠鏡によるフォローアップ観測では、5" × 6" のコマが p. a. 290° の方向に伸びている。尾は、60 秒露出 4 枚を重ねて辛うじて 8" の尾が見える。小惑星センターの PCCP webpage に公表後、佐藤英貴氏 (iTelescope Sierra Remote 天文台, 0.61-m f/6.5 アストログラフ+輝度フィルター, Auberry, カリフォルニア州, 遠隔操作; 11月29.56日 UT、60 秒露出 10 枚スタックでは、強い集光のある 6" のコマがあるが尾はない。3".7 の円形範囲で測定したこの彗星の w-バンド全光度は 19.4 等であった)ら CCD 位置観測者によって彗星状と観測された (CBET 4462, 2017 December 19)。



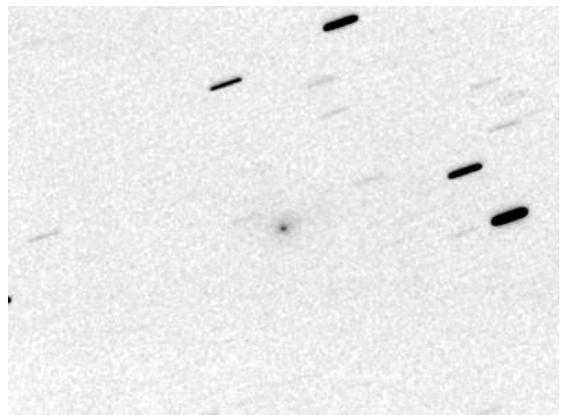
(写真 a) C/2017 O1 (ASASSN)
2017, 11, 21 22h17.0m-51.0m (JST)
exp. 60s×31 TOA130 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) C/2016 R2 (PANSTARRS)
2017, 11, 29 02h06.0m-29.0m (JST)
exp. 60s×18 TOA130 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 c) 62P/Tsuchinshan
2017, 11, 22 05h05.0m-28.0m (JST)
exp. 60s×20 TOA130 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 d) 24P/Schaumasse
2017, 11, 22 04h40.0m-05h01.9m (JST)
exp. 60s×20 TOA130 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏

○ 主な光度等観測報告

2017	UT	ml	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
C/2015 ER ₆₁ (PANSTARRS)											
Nov.	9.66	14.7	0.3'	-	>2.0'	260°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②③
	11.64	14.6	0.3	-	>2.0	260	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②③
	12.62	15.2	0.3	-	>2.0	260	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②③
	14.64	14.2	0.3	-	>2.0	260	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②③
C/2015 O1 (PANSTARRS)											
Nov.	9.38	13.8	0.2'	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	10.38	13.5	0.2	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	11.37	14.2	0.2	-	-	-	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
C/2015 V1 (PANSTARRS)											
Nov.	9.52	15.6	0.3'	-	4.0'	30°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	11.77	15.8	0.3	-	4.0	30	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	12.77	15.4	0.3	-	4.0	30	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	13.49	15.1	0.3	-	4.0	30	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	14.59	15.4	0.3	-	4.0	30	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
C/2016 M1 (PANSTARRS)											
Nov.	9.39	14.6	0.2'	-	0.2'	40°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	11.40	14.7	0.2	-	0.2	40	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
C/2016 N4 (MASTER)											
Nov.	9.47	15.2	0.1'	-	0.3'	120°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	11.45	16.0	0.1	-	0.4	120	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
C/2016 N6 (PANSTARRS)											
Nov.	11.45	14.3	0.2'	-	0.4'	40°	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
C/2016 R2 (PANSTARRS) (写真 b)											
Nov.	9.71	14.4	0.2'	-	0.5'	290°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	11.67	14.0	0.2	-	1.2	290	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	12.70	13.7	0.2	-	1.2	290	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	13.71	13.2	0.2	-	1.0	290	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	14.70	14.0	0.2	-	1.0	290	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	15.71	13.7	0.2	-	1.0	290	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	24.75	12.6	1.4	4	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	④①
C/2017 O1 (ASASSN) (写真 a)											
Nov.	9.69	13.3	0.8'	-	>3.0'	215°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	10.58	12.7	1.0	-	>4.0	220	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	11.65	13.7	1.0	-	>4.0	220	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	13.48	13.1	1.0	-	>4.0	220	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	15.73	13.3	1.0	-	>4.0	220	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②⑤
	20.72	12.5	1.6	2	-	-	3/5	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑧
	24.80	11.5	1.6	2	-	-	-	-	75×40-cmL	吉田誠一	④②
C/2017 T1 (Heinze)											
Nov.	9.75	-	-	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②⑨

2017	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
C/2017 T1 (Heinze) (continued)											
Nov.	11.66	16.0	0.1'	-	1.0'	260°	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	12.71	16.8	0.1	-	1.0	260	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	13.77	17.0	0.1	-	1.0	270	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	15.74	16.6	0.1	-	1.0	270	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
24P/Schaumasse (写真 d)											
Nov.	9.78	13.6	0.3'	-	1.0'	300°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	10.80	15.6	0.3	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	13.79	14.2	0.3	-	0.8	300	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	15.81	13.3	0.3	-	>2.0	300	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	20.79	11.3	3.1	5	-	-	3/5	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑩
	24.79	11.5	1.4	1	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	④③
	24.83	11.6	3.1	5	-	-	3/5	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑩
29P/Schwassmann-Wachmann											
Nov.	10.39	15.2	0.4'	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	12.41	16.1	0.4	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	12.40	15.6	0.4	-	-	-	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
62P/Tsuchinshan (写真 c)											
Nov.	9.82	15.2	0.4'	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	10.79	16.0	0.3	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	13.72	13.1	0.5	-	>1.5'	300°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	15.77	13.3	0.6	-	>2.0	300	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	20.73	11.7	2.6	5	-	-	3/5	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑩
	24.77	11.1	4.2	5	-	-	3/5	-	EOS6D**	張替憲	⑥⑦⑩
	24.78	10.4	4	1	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	④④
240P/NEAT											
Nov.	9.50	15.1	0.2'	-	0.8'	30°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	15.69	14.2	0.2	-	0.8	30	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
355P/LINEAR-NEAT											
Nov.	9.60	15.4	0.2'	-	0.3'	340°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	12.54	14.7	0.2	-	0.3	350	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	15.66	14.9	0.2	-	0.3	350	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	24.44	[14.0 !	0.4	-	-	-	-	-	257×40-cmL	吉田誠一	④⑤

* 45-cm F12 (レデューサー使用 F4.6) カセグリーン反射+FLI ML8300。

** 15-cm F4(レデューサー使用 F2.5) 反射+デジタル一眼 Canon EOS 6D。

① 観測地:長野県富士見町 五藤光学ハヶ岳観測所。② 60秒露出を Astrometrica UCAC-4で測定。
 ③ faint tail ④ 観測地:群馬県・北軽井沢 ⑤ through cloud ⑥ 15-cm F4(自作レデューサー
 使用 F2.5) 反射+Canon EOS 6DのG画像をGUIDE9.0を使用して Makali iVer1.4aにて測光。観測地は
 千葉県九十九里海岸。⑦ 50秒露出(25秒×2) ⑧ 集光のない拡散した円盤状。⑨ Close to star
 ⑩ コマは中央集光のある円盤状。⑪ コマは青く集光の弱い円盤状。
 ① かなり明るくなってきた。案に見える。② かなり暗く小さくなった。北極星のすぐ近くで、一晚
 中見えている。③ 明るいのが、拡散状で見づらい。④ 明るく大きい。拡散状。⑤ 見えなかった。

※ 全ての光度等観測は、次を参照。

http://www.comet-web.net/~oaa-comet-ml/comet_mag_report.htm

※ 光度等の観測報告は、佐藤裕久宛て e-mail : hirohisa-sato@hi-ho.ne.jp に送付ください。